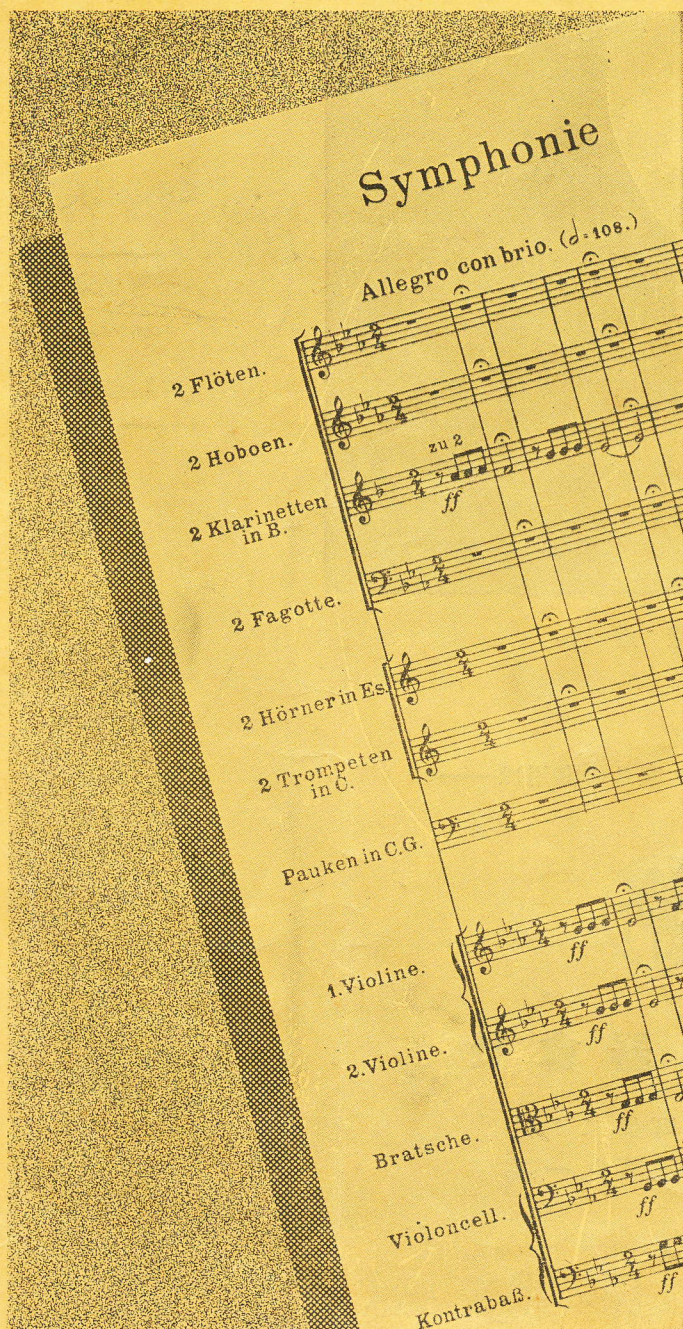


THE ORCHESTRA

オーケストラ

VOL. VII



神戸商業大學管絃樂團

1939.12.16. 發行

神戸商大管絃樂團

部長 田中金司教授
 副部長 新庄博助教授
 同 加藤一郎講師
 マネージャー 今井基介

指揮者	赤松知止	安達保夫		
賛助出演	福井和子嬢			
第一ヴァイオリン：—	安本弘	橋本義雄	宇治久雄	
	中村敏夫	鮑永康	正木孝	
	北山信雄	宇治典紀		
第二ヴァイオリン：—	小西廣行	簡錦泰	近藤廣一	
	田邊康明	船津忠正		
ヴァイオラ：—	島本憲一	山谷美津於		
セロロ：—	上野伊太郎	矢倉龍次	織野音詩	
コントラバス：—	今井基介	北爪貞夫	宇治久雄	
フリュート：—	堀内信作	浦野忠一	宇治典紀	
	海村厚次			
オーボエ：—	澤禎一	多田博一		
クラリネット：—	小布施五郎	小西公行		
バズーン：—	赤松知止	杉山義瑛		
ホルン：—	高橋一	上田利正	大東謙一	
トランペット：—	千田實	増田幸正		
トロンボーン：—	船津忠正			
ティンパニ：—	日比野一郎	三好達夫		
バツテリー：—	小川久	森芳夫		



ビクター・レコード
 と ラ チ オ

名 蓄 堂

神戸生田東門筋 (電葦合㊿6032)

戦時下の明朗純喫茶

“ 街 ”

喫茶の理想は味に

阪急神戸驛西 生田筋前

DAS 17. KONZERT DER SYMPHONIE

PROGRAMM

— I —

- K. U. C. March N. YAMANAKA.
- I Symphonie Nr. I. in C dur Op. 21 L. V. Beethoven.
- 1 Satz Adagio molto — Allegro con brio
- 2 Satz Andante cantabile con moto
- 3 Satz Menuetto. Allegro molto e Vivace
- 4 Satz Adagio — Allegro molto e Vivace

— II —

- II Morning, Noon, and Night in Vienna
(OVERTURE) V. Suppe.
- III Soprano Solo K. FUKUI
- 1 Berceuse de Jocelyn B. Godord
- 2 'O Sole Mio E. di Capua
- 3 Solvejg's Song.
From Peer Gynt Suit No. II E. Grieg
- III An der schönen blauen Donau J. Strauss.

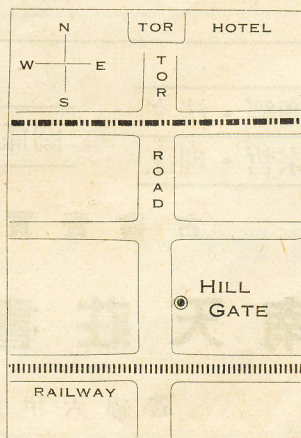
趣味の舶來雜貨

流行服裝

其他しやれた洋品雜貨

ヒルゲート

コオベト—アロード



THE ORCHESTRA

隨

感

音樂部副部長 新 庄 博

僕は曾て留學當時ヨーロッパからアメリカに渡つてアメリカと云ふところは恐ろしくさくばくなところだと思つた。それは造花と映畫と蓄音機で代表される文化の如くであつた。寫真もよい映畫もよい蓄音機もよいがそれらを本當に育て上げる爲には繪畫や演劇や、そしてなまの音樂が裏付としてなければならぬ。前者が資本の産出するものでしかないに反し、後者こそ人の藝術的衝動の創造物である。

人は稍ともすれば餘り早く音樂について批評家になりすぎる。と又一二度きいて曲がわかるもわからぬもないにかゝはらず自分には音樂は分らぬと云つて氣にする人がゐる。演奏會をきいてもそれを楽しんで味ふことよりもどこか缺點をさがし出さうと一生懸命になるのではないか。そんなことなら初めから聞きに行かぬ方がよいので、音樂は謙虛な氣持で靜かにいゝところだけ味つて置けばよきうなものだと思ふ。日本音樂が優つてゐるか西洋音樂が優つてゐるか云つた議論ほど馬鹿なものはない。内心浪花節が好きであるがそれがどうも相當なインテリの體面上困つたことのやうに持餘してゐる人がある。たとへ浪花節であらうがよいと思へば正直にいゝと云へばよからう。少しも恥かしがることはないと思ふ。どうも音樂は虚榮と結びつき過ぎてゐるやうだ。

謹

聽

音樂部副部長 加 藤 一 郎

近頃名著のひとつにカント學者天野博士の「學生に與ふる書」があります。その中の「學生と音樂」といふ一章をよむと、學生を愛する先生の温かなお氣持が滲みでてゐて、誰しも楽しい學園の雰圍氣を感じる。音樂はもともと善きものだ、勉強をお留守にしない範圍でふれるがよろしい。つづめていへばそれだけで、どの先生だつていへることだし、いひきかせてゐることだが、問題はおなじ主旨の説き方と、その態度である。人格による裏付けである。そのとき言葉の魂が生きて働く、つまり語りかけられた學生は泌々と傾聴し、その意を體することになる。かうなくてはならぬ。「音樂を愛し殊に自ら音樂を練習する學生諸君は音樂の名譽のために、この絶對精神の世界のために嚴肅な氣持をもつて日々の生活を營むべきだと思ふ」先生の結びの言葉である。

諸君の貧弱な部長である僕も、一度は自分の言葉で「學生と音樂」を書きたいのだが…………。

商經・法文
宗哲・理工

關係書取扱

(古 書 賣 買)

南 天 莊 書 店

省 線 六 甲 道 驛 前

諸官衙各學校御指定御用達

花 房 帽 子 店

神 戸 市 楠 社 西 門
電 話 元 町 1 6 7 6
振 替 大 阪 5 7 6 1 9

第拾七回定期演奏會

曲 目 解 説

コントラバス 関人

— 演奏の順序に従つて —

I 交響曲第一番ハ長調作品二一

L.V. ベートオヴェン

ベートオヴェンに就ては誰もが非常に多くのそして詳細な事柄を知つて居ます。だから茲には簡単に記しませう。

政治的には一代の風雲児ナポレオンの覇業と其の後始末の時代。思想的には自由主義への進展期。経済的には資本主義への轉換と言ふ所謂産業革命の時代。其が即ちベートオヴェンが世に出た時代の潮流でした。そして此の様に渾沌たる而も甚だしく進取的な社會意識に對する解答が彼の交響曲であり、所見の告白が又左様であると言ふ事が出来るのです。第一番の交響曲を完成する爲に彼は餘程の時日を要した様ですが、一七九五年の始めに其のスケッチと思はれるものが現はれて居る以外には詳しい事も解らず、自筆のスコアも残つては居りません。初演は一八〇〇年四月二日水曜日で、ウインのブルグ劇場で行はれ、自演のピアノ協奏曲（第一番か第二番か不明）と共に演奏されて居ます。

第一樂章は平凡な因襲的な和音を避けて、ハ長調の屬七度和音から始まり、主調たるハ長調の序奏旋律は四小節の導入和音が終つてから用ひられて居ます。第一主題は單純な力強い性質、第二主題は屬音調で下降音階に依る優しいものです。

第二樂章は第二提琴から始まるフガート

第三樂章は舊來の型式に依るメヌエットですがテンポがずつと速く自由な構造を持ち交響曲の第三樂章がメヌエットからスケルツォに進化する始祖と見做されて居ます。

第四樂章はアダージョの序奏に始まり主部に入

る前に、峻烈な機智に依るパツセージがありますが、是は當時の指揮者達を非常に驚かせたものらしく、度々除外して演奏された事があると言ふ程です。

最後にベルリオーズの批評を見ると、

『僅かしか高潮されて居ないが清明で生氣に充ちた作品であるが、但し冷たく所々平凡である。最後のロンド（第四樂章の事）の如きに到つては純粹な音樂的幼稚の一例である。一言にして言へば是はベートオヴェンではない。而し吾人は遠からず彼を見出さんとする。』

II 序曲 ウインの朝・晝・夜 V. ブツベ

喜歌劇「ボツカチオ」とか序曲「詩人と農夫」とかの代表作で知られる通り、十九世紀中葉以後に於て維納を中心にして喜歌劇又は輕音樂の分野に活躍した人フオン・ブツベ（1819—1895）は白耳義人の血を享けた奧太利人で入港する船中で産れたと言ふ事です。

生涯の大部分を維納で過し、其の頃の紀念品が此の「ウインの朝晝夜一序曲」です。

緩やかな序奏部は、明るい晴やかな朝の森を、四分の三アレグロは並樹の蔭を縫ふ市民の往來、そして街頭の風景を、最後に突如として起る急速調は音樂と踊りに更け行く歡樂の夜を描寫して居ます。

ブツベの三つの特徴を記して置きませう。

即ち非常に多作であつた事、恐ろしく長い本名であつた事、終生貧乏であつた事。

樂器・蓄音器高價買受

ハヤシ樂器店

大阪市北區堂島中一丁目五四

（堂島中町停留所前東側）

— 洋品雜貨は

尖端の尖端を行く —

元町 サノへ洋雜貨店

神戸市元町二丁目
電話三宮④〇三〇六番

Ⅲ ソプラノ獨唱 福井和子嬢

(1) 歌劇「ジョセラン」からの子守歌 B・ゴダール
聖なる愛と、婦人の愛との間に板はさみになつた
僧の苦しい胸を歌つたラマルティヌ(1790—1869)
の詩に基いて、フランスの歌劇作曲家ゴダール
(1849—1895) が作曲した歌劇「ジョセラン」は、
當時は或程度の好評を博したけれども今日は殆ん
ど忘れられて了ひ、唯、其の中の一詠唱曲のみが
子守唄として、今日甚だしく有名です。歌詩の意
味は

憂き惱みの幾夜さを 過ぎて今宵
汝れと泰く眠る伏屋
胸に願事唱へつゝ 寂しき星を見る
おゝ 夢覺むるなよ
天使守りませば
眠れ吾がいとし娘よ
眠れ 夜をこめて、 マリアよ
守りませ (以下略)

(2) 私 の 太 陽 E・D カプア

伊太利の民謡 'O Sole mio 歌詩の意味は

晴やかに照るおひさま
みそら晴れて
あらし止んで
そよかぜに 光り見せた
あかく輝くおひさま
其の陽より明るい
いとほしの君が眼
うるほしのみめ
わたしのおひさま

(3) ソルフエイグの歌「ピアギント」より クリーク
イブセンの詩にグリークの作曲した「ピアギント」
の中で歸らざるピア・ギントを想ひつゝソルフエ
イグの歌ふ詠唱。意味は

(一) 冬は去りて 春は行きぬ 春は行きぬ
夏も過ぎ行き 年暮る 年暮るゝ
君は歸らむ いとし君よ いとし君よ
誓守り 我は待つを 我は待つを
アア…………

(二) めぐみあれよ 君、ひかり仰ぐ時
幸あれよ きみが身に いのる時
こゝに我は君待つも 君待つも
よみぢにまさば 我も行かむ 我も行かむ
アア…………

Ⅳ 圓舞曲碧きドナウ 作品三一四 ヨハン・シュトラウス

ワルツの王ヨハン・シュトラウス(1825—1899)
の作品は大衆の爲の作品であると言はれて居ます
が、其の高雅な音楽性の故に、常に他の交響的作
品の演奏會に編入されて居ます。

此のワルツは始めウィーン男聲合唱協會の依頼
に應じてベツクの「美しく碧きドナウに沿ひて」
と言ふ詩に一八六八年二月作曲されたもので、描
寫的ワルツと言ふよりは寧ろ頌歌と言ふべきです。
其の詩を御紹會しませう。

Und ich sah dich reich an Schmerzen
Und ich sah dich jung und hold
Wo die Treue wächst im Herzen
Wie im Schacht das edle Gold
An der Donau, an der Schönen blauen Donau.

此のワルツに就て面白いそして有名な逸話があ
ります。

嘗てブラームスがシュトラウス夫人と會見した
時に、ブラームスがシュトラウス夫人の持つて居
る扇に此のワルツのメロディーを書き、そして
「残念乍ら此はブラームスのものではない」
と記したと言ふ事です。

商大アルバム寫眞御用

藝術味豊かな定評ある寫眞

石 崎 寫 眞 館

神戸市葺合區上筒井通一丁目七九
電話 葺合 ②六八八二番

古 本 拂 底

各 種 高價に買受けます
古 書

— 評 價 確 實 —
— 御 報 參 上 —

ブンスケ書店

神戸區下山手通七丁目能樂會館前電車通

在阪先輩ばかりの

『樂團の發展を期する座談會』 宇 治 閑 人

日 時 十二月一日 於 大阪淀屋橋スエヒロ
出席者 岩 崎 純 一 (學二 大一洋紙店)
上 野 伊 太 郎 (學三 日 瑞 貿 易)
浦 野 忠 一 (學六 兼 松 商 店)
西 村 俊 一 (學八 大 阪 瓦 新)
司會者 宇 治 久 雄 (學五 江 商 株 式)

司會「今度の演奏會に際して又雑誌を發行するのですが、各自に何か書いて貰ふより、在阪先輩の座談會をやつて其の儘發表したら良いだらふと言ふのでお集まりを願つたのですが。岩崎さん何か」

(一) 演奏會の曲目に就て

岩崎「今度の演奏會には何をやるのかね」
宇治「第一ハ長調ミブリューダニニューブ、それからズツベのウインの朝晝夜」
岩崎「僕等の時分から左様だが、シンフォニーは餘程長く出来てもねむたくて効果が少いと思ふが、シンフォニーをやればならんのかね」
上野「學生の事だから出来不出来の問題は別にして相當の名曲を演奏して見やうとするのは悪い事ぢやないと思ふがなア」
西村「何か名曲をやらんぞれ」
上野「オペラの抜萃かなんかでも良い」
浦野「抜萃はめまぐるしく気分も變るし管樂器がむつかしいから、矢張りシンフォニーが良いね」
西村「玩具交響曲を又やつて見たら」
上野「あれは一寸輕過ぎるよ。モーツアルトの絃樂セレナード等の方が良いと思ふ」

(二) 樂團の發展に就て

宇治「樂團をもつて發展させると言ふ事に就て何か考へばありませんか」
浦野「大學豫科が出来ると言ふ事は其點有難いね」
西村「學生部員がふへるからね」
上野「やはり學生部員が多くなれば駄目だからね」
岩崎「管樂器なんか何かがある？」
西村「プラスではホルンミトロソフ、トロンベツト、木管ではフリュート、オーボエ、クラリネット、ファゴット」

岩崎「新入部員は管が吹けるかね」
上野「此頃は大体が多い様だ」
岩崎「學友會の豫算は」
西村「非常に少い」
宇治「豫算が少いと言ふ事は痛手なんだ」
一齊に「さうだ」
岩崎「何か豫算を多く取る方法は無いかね」
宇治「先づ駄目だ。だから何かして學外から集める工夫がいる」
浦野「演奏會に入場料を取つたら」
西村「先づむつかしいし、大體心臓が強過ぎるよ」笑聲
宇治「今出征中の副島君が前にマネージャーの時代に後援會を作らふと言つて僕が案を立てた事があつたが是は如何だらう」
岩崎「後援會は良いね」
上野「學外のメンバーをもつて密接に連絡する事も必要だし、學生部員と先輩とが一體となつて商大管絃樂團のメンバーであると言ふ事に對してもつて大きなプライドを持つと言ふ事も必要だ」
西村「何かバツヤでも作つて、何回か出演した人には學生部員と同じ様に其を佩用して貰ふと言ふ様な」
岩崎「何かの特權があるのか」
上野「プライドを持つてのさ」
浦野「其では一向に有難くないね」
宇治「功利的に考へればね」
岩崎「其の人に頼めば入場券が安く買つて貰へる言ふなら兎も角」(笑聲)
宇治「大體外部の人でも、一度来てくれた人はずつと續けて来てくれる傾向はあるが」
浦野「面白いからね」
西村「外部からごんごん手傳ひに来てくれる位、うれしい事はないのだから此の點は大いに考へる必要が

壽司
生そば
井物一式
洋食

末廣

六甲登山口バス停前
電話 御影 六八五七番

寒い冬！
温い味覺！
雜談に、晝食に何卒

洋樂レコードの御用は何卒専門店へ
交換は特に御有利に御相談申し上げます。

奏 鳴 社

神戸市元町二丁目ノ二(元町驛前南入ル)
ストック・リスト呈上
(スキーマ山の用具買入開始)

ある」

宇治「大阪に練習場を作つて、我々も大學の出店を作る
なんか何うだらふ」

浦野「其は良い。そして演奏會の曲目を練習する」

上野「演奏會の爲に大學で練習して居る時は負擔が重く
なり過ぎるよ」

浦野「集まる丈でも面白い」

岩崎「みんな忙しいか？」

宇治「其位は出来るよ」

上野「會費を取つて、頭から束縛する必要がある」

浦野「五圓位だ」

西村「そいつはこたえる」(笑聲)

浦野「大部切りつめて居るらしいな」(笑聲)

西村「俺のそこは居留守を使へんから困る」(笑聲)

浦野「其の點俺のそこは便利だ」

宇治「月給から差引いて置いて貰ふ」(笑聲)

上野「大阪に他にもメンバーが居るだらふ。飯田、岡田、
大久保の連中が」

浦野「徳永さんは？」

上野「東京へ行つた」

岩崎「兎に角みんな集まる事も必要だ」

上野「其の内に先輩の方が多くなるよ」

宇治「先輩と樂團の連絡を取る事も必要だ」

上野「一度大阪に進出させる事は出来んか、朝日會館
まで行かんでもカスビル位」

岩崎「放送は駄目か」

上野「先日聞いて見たが、此頃は東京からの中継が多く
て駄目らしい」

(三) 大阪に會を作る事に就て

宇治「大阪に先輩の會を作つたら何ふだらう」

岩崎「つまり後援會を作つて、樂團に對して産の親の役
をする譯だ」

上野「近い中にゆつくり逢はぶぢやないか其の件で」

浦野「其の會費から食事代を出して、毎週一度晝食を共
にする。そして其の残りは部費として樂團に寄附
する」

宇治「今迄毎週土曜日に美交社で晝食を一緒にして居た
あの集まりをもつと確實なものに度いれ」

西村「あの集りでは俺は三度屁をかまされたよ」(笑聲)

浦野「俺もだ」(爆笑)

岩崎「會費は五圓だ」

西村「やつぱり五圓か」(爆笑)

上野「最初五年間は最少いくら、先はいくらが増すと言
ふ事にしては」

浦野「増加分は御希望に依る譯だ」

浦野「其の頃迄日本に居るかな」

西村「あいつ此の頃一向に出て來んやないか、何でもイ
カンで死んだらしい」(笑聲)

岩崎「演奏會迄に集まらうぢやないか」

宇治「是非集まらふ」

上野「定期的に全員が集まつて、其の時には神戸から北
爪君も呼ばふ」

宇治「學生も呼んだら何ふだ」

西村「餘つた金で演奏會に花束でも贈るさ」

浦野「いや、餘さず飲むよ」(笑聲)

上野「イカンで死ぬぞ」(笑聲)

岩崎「兎に角ゆつくり集まらふ」

司會「では、詳しい事は其の時にして、今日は此の邊で
どうもお忙しい所を恐れ入りました。」

斯くして次週料亭むさしにて會食する事を約し散會午後
二時。

ハーモニカの讀經 上田十四

北支那河北省の平原を惡路に惱まされ乍ら逃げる
支那兵を追つて一ヶ月。支那三關の一。娘子關の
天嶮に強敵共產軍と對峙する事二週間。巧妙な敵
のゲリラ戰術に。後方連絡を絶たれ。食糧彈藥は
なく。岩鹽とカボチャに數日を送つた時の話である。
山嶽戰は主として夜の幕が降りると彼我共に
活潑になる。地の利を得た敵は一夜必ず四五回の
夜襲は常だ。山砲迫撃砲重機の掩護射撃でドンド
ン逆襲して来る。無氣味な云ひ知れぬ沈黙の中に
夜の明けるのが待ち遠しい。白じらと魔の夜は明
けた。昨夜嶺線の一角に激しい彼我の銃聲を聞いた
だけに何より戰友の安否が氣遣はれる數時待て
ど〇〇名は我壘壕に歸つて來ぬ。不幸な豫感が腦
裏を走る。やがて、傳令の報告に。嗚呼。〇〇名
は遂に祖國の尊い人柱となつた。その夕暮我々戰
友の手に慇懃な戰場の葬ひが行はれた。私は、ソツ
と慰問袋のハーモニカを口に、ショパンの葬送ソ
ナタの一節を吹いてやつた。此れが讀經のない戰
場では音樂を親しむものゝ唯一の英靈への手向の
讀經であらう。(十二月四日)

Tea Parlour

暖 く て

感じのいい

喫茶 白 百 合

神戸元町六丁目 電話元町二三六二

罐詰談議 ジョーチ、ヤングレー

アメリカの女は日常の食卓を大抵罐詰で片付けてしまふといふ、こんな女を女房に持つたらほんとに百年目だ。

日本にも罐詰ばかり食つてゐる音楽家?がある。レコード。フアンと稱する音楽家の一群である。栄養の関係か盲で啞で聾がその大部分で或種の體臭を發する。實にハナモチならぬ惡臭である。

樂譜が見えずドレミが唄へずになつてバツハを論じ伯林フィルハーモニーを批判するんだからコワイみたいなものだ。そんな手合に掛つては吾々アマチュアはボロクソである。アマチュアなるが故にボロクソである。クライスラーとかシユナーベルとかトスカニーニなどのキラ星の演奏以外はおきゝにならない。食後の一服にソナタをきいたり一晩にシンフォニーを二ツ三ツとソナタの幾つかを聴いて平然たる精力家がよくある。ワイヤロープの様に強靱な神経は實に羨しい。

そうした方々は仲々批判が好きである。レコードを聴いて批判するのではなくレコードのラベルを見て然る後に口を開く全くもつて恐しきシロモノである。

“音を樂しむ” ヴイオロン生

「音楽」と云ふ言葉は良い言葉ですね。誰が云ひ出したのか知りませんが、たしかに音を樂しむことに相異ありません。ところが、音楽は見ても樂しめず。今晚皆さんが、指揮者の、音の掻きまわし方を見て、蛙の水泳ぎを思ひ出したり、ファーストヴァイオリンの、体を振り振り弾く様を見て、手長猿のブランコを思ひ出したりするのも結構樂しむことでせう。而もそれに、妙なる、本當に妙なる音が聞へて來るのですからね。さうでせう。「ハンモックや花環等はもう澤山、僕は家の様にその中に人の住める音楽を誰かが建ててくれればいゝと思つてゐる」と、たしかコクトオが云つたと思ひます。皆さん、如何お考へですか、私は此の言葉が大好きです。ピアノでもオルガンでも一臺ある家は、朗かです

ね。さあ、難かしい理屈は抜いて美しい音楽に酔ひませう。

〇—〇—〇

ゲンカン樂 ドロボン生

一般にオーケストラの事を「管絃樂」と呼んで居る様ですが、果してこの譯語が適當なるものでせうか。管と絃の合奏だからこう稱する様になつたのでせうが「管絃」なる語は雅樂の合奏を意味したものでから轉用され、初めはオーケストラを譯して西洋管絃樂と呼んだとの事です。

而し雅樂は「ひちりき」「笛」「笙」の管樂器が旋律を奏し絃樂器は伴奏するので、管が主で絃が従の意味から管と絃と言はれても首肯出來ます。一方、オーケストラの方はどうでせう。大概の人は「絃が主で管が補助の立場をとるのが普通だ」と言ひます。管の一つたるトロンボーンを専攻して來た小生にとつてあんまりお面白い返事ではないんですが小生もこの事は大体に於て認めざるを得ません、而し、此處に絃の方が主と云へるのならば、文字も一致させて絃と管と云ふ意味で「絃管樂」と呼ぶべきだと信じます。では皆さん今後は、オーケストラの事を絃管樂と呼んで下さいね。

隨 筆 村井澄也

六甲絃人として懷しの「ザ・オーケストラ」に筆を採つて、樂人の皆様と接した頃から四年有餘を経過しました、世は平和より戰時、自由經濟時代より統制時代へと推移しました。レコード界も原料難の爲需要者側から眺めても必需品第一の建前から活氣を失ひつつある現状となりました。曾ては滿洲の野に皇軍將士慰問の演奏旅行に花を咲かせた當時の神戸商大の管絃樂部も現在では練習、演奏會その他萬端に不自由のある事と信じます。この非常時に際會して、娛樂としての遠慮に打過ぎず、銃後國民の意氣の涵養と情操教育の爲、大なる活躍を期待します。ナポレオンの戰野に奮闘せし當時樂聖ベートヴェンの在りし事を思へば、却つて、非常時こそ偉大なる人物を生む最もよい機會と信じます。

扇港に誇る ミュージックサロン

茶室 ウィンナチェーン

本店	元町五丁目オアシス横
支店	元町五丁目舊モトブラ
支店	多聞通八丁目電停下ル

オーケストラの語義 コンベッター生

皆さんが「オーケストラ」と管絃樂團の事を呼んでゐらつしやるのは、どんな所から來たか考へて見ませう。

昔から西洋では、劇場が發達してゐましたが、古代ギリシヤでは、劇場の一階席の事をオーケストラと云つてゐました。今でも西洋ではさう云つてゐます。そして舞臺前のオーケストラ席に管絃樂團が居た爲に、その事をオーケストラと云ひ始めたさうです。

試みに皆さん、「英、獨、佛」何れでも辭書を開いて御覽なさい。オーケストラの部に「管絃樂」と「一階席」の二つの意味が見出れるでせう。

皆さんがお友達と映畫へ行かれる時、「オイ今日はあそこのオーケストラへ行かう」等云つて見られたらどんなものでせう。一寸洒落てますね。

そろそこのオーケストラに坐つてゐらつしやる坊ちゃん、溫和しくして音樂をお聞きなさい。

編輯 後 期

本日演奏される方々は“學士”或は“學士”たらしとする方々ですが、“樂士”たることには音樂をやる以上違ひありませんが“樂士”といへば誤弊があると考へられるならば“樂しめる士”といふ意味で樂士です。十分“樂しめる士”の樂し

みを味つて下さい。尙、

新庄、加藤兩副部長を始め先輩、部員より原稿を賜り内容を豊富にさせて下さつた事に對して厚く感謝致します。

本年四月以來の當樂團の主なる活躍振りを左に掲げます。

- | | |
|--------|-----------------|
| 五月十五日 | 創立記念演奏會 |
| 六月四日 | 商大童研子供會贊助出演 |
| 六月十七日 | 商大音樂部合同演奏會 |
| 六月二十二日 | 商大映研映畫會贊助出演 |
| 十月一日 | 林五郎氏舞踏研究發表會贊助出演 |
| 十二月二日 | 商大童研子供會贊助出演 |
| 十二月十六日 | 諸樂部會に貿易會館にて出演 |

The Orchestra

昭和十四年十二月十日印刷

昭和十四年十二月十六日發行

編輯兼 今井基介

發行人

印刷所 株式會社大林帳簿製造所

(非賣品)

發行所

神戸市灘區高羽嘉太夫新田

神戸商業大學内

神戸商大管絃樂團

B E E H I V E

純米國式レストラン

洋菓子部

喫茶・酒場

新鮮な感覺と親切なサービスをモ

ットーとするビーハイブ

皆様方のお集ひに階上大宴會場を

御利用下さいませ

大小宴會 座談會

送迎會 忘年會

クラス會 新年會

ティーパーティー 等々……

元町一丁目

電話二宮一〇九八

ビーハイブ



御見合より里歸りまで・一

御慶事用品専門店

御出産より白壽まで・一

京都市油小路四條南入

コトブキ商会

電話下(5)三〇七五番

高級蓄音器とラジオ

大阪心齋橋北詰

盤阪根楽器店

電話船場(83) 0153 2460

ピアノ陳列場 御堂筋新橋北詰北口

洋楽レコード 古今の名曲洋楽レコードは特に豊富に、常に新しいものを取揃え御來聴をお待ちしております

鐘紡の婦人子供服

軽くて
暖かい アンゴラ服地

元町御散策の一こきを

瀟洒な

喫茶カネボウへ



鐘紡元町 サービス・ステーション